

 **HIDEO**

Press Kit 2026.03.25

HIDEO

ABOUT HIDEO

Elegance in Motion.

バスタブの美しさを究極まで追究し、辿り着いた到達点。外形を形作るたおやかなカーブ、洗練された薄さをもつエッジ、浴槽内の小さなアールの美しさにまでこだわった HIDEO のしなやかなフォルムは、大胆かつ繊細なファインアートのような存在感を放ちます。それはバスタブの究極の進化形。すべてが置き型である HIDEO はバスタブの常識を覆し、それがエレガンスを極めた「高級家具」の一つであることを主張しています。

Elegance in Motion —— 古い殻を脱ぎ捨て、私たちのデザインは新たな美の次元へと向かっています。

HIDEO Brand Essence

オフホワイトのマットな質感を伴う無垢の LAR 素材がラグジュアリー感を漂わせる置き型バスタブのラインナップ。バスタブデザイナー清水秀男と LAR との出会いは、大胆さと繊細さが共存する斬新なフォルムに結実しました。たとえば、横からバスタブを見たときのサイド面の緩やかな弧は、LAR の特性と特殊な成型技術なくしてはできないもの。バスタブが単なる設備ではなくデザイン家具であるという主張は、複雑な成型技術に裏打ちされたものです。特徴的な外観はすべてが快適性の追究に基づきます。

極限まで薄く成型された繊細な器のようなエッジは、コンパクトな浴槽サイズからは想像できない広々とした入浴空間を生み出し、LAR ならではのシルクのような肌触りとあわせて開放感を増幅させます。浴槽内部のアームレスト、フットレストを形成する数々の美しいアールは、自由な体勢での入浴スタイル、出入りの安全を優しくサポートし、余分な動きの負担を体には与えません。のびのびと足を伸ばして上向くことも、横たわることも、浴槽内のステップに座し半身浴することも、HIDEO では限りなく自由です。

HIDEO: Provenance of the Brand

High

快適なバスタブを追い求め形にした HIDEO のフラッグシップ。
高度な成型技術がもたらすバスタブ究極の完成形。
気品のある高級家具を生み出そうとする理想。

Innovation

バスタブを設備から家具へと変革し、バスライフそのものを変える。
バスタブにインテリアにおける家具としての地位を確立する姿勢。

Design

清水秀男の原点にある思想。
最新素材と日本の技術、アルチザン思想をベースにバスタブの常識を覆し、湯に浸かるという人の行為そのものに新たな形を与える思想。

Evolution

進化し続けてきたバスタブの完成形をどこまでも追究。
留まることなく進化していく可能性を感じさせるエネルギー。

O

禪における円相図。ミニマリズムに秘められた力強さ、洗練は自由な想像力の象徴。
心を解放し、本来の自然体の自分へと回帰する。



Designer Profile

清水秀男

1952 年、東京に生まれた清水秀男は、1970 年代にミラノに渡りインテリアデザインを学ぶ中で、デザイナーとしての自らのアイデンティティーを模索。

日本の伝統的な生活文化である風呂に着目し、西欧の高級ファニチャーブランドに匹敵する高級バスタブブランドとして 1982 年に JAXSON を創業しました。肩までゆっくり湯に浸かる日本のスタイルと職人技術をマッチングさせたアクリルの革新的なバスタブで、日本の風呂がもつリラクゼーションの魅力を世界に発信。バスタブデザイナーとして世界のリゾートホテルや住宅におけるラグジュアリーな浴室空間のプロデュースを数々手掛け、バスライフに変革を起こしてきました。

新たに立ち上げた HIDEO ブランドでは、今までの経験によって得た知見から、バスタブの入りやすさと安全性という機能をより強固に、最先端の製造技術でさらなる快適性とデザイン性を追究。バスタブは高級家具へと進化を遂げ、清水のバスタブは新たなステージへと歩みを続けます。

SPECIAL RELEASE | 2026 MILAN DESIGN WEEK

Exhibition Concept for Salone del Mobile.Milano

HIDEO が Salone del Mobile で提示するのは、製品そのものの造形美だけではなく、日本の風呂文化を背景に育まれてきた入浴の思想です。会場では、ブランドを象徴するバスタブ IN-2000-E / Infinity-Bio と CH-1400-E / Chiave-Bio を中心に、穏やかで温かな空間の中で HIDEO の世界観を表現します。

デザイナーの清水秀男は、長年にわたり、バスタブを単なる設備やプロダクトとしてではなく、水・光・空間、そして身体と心の関係を静かに整えるための存在として捉えてきました。HIDEO の造形には、その考え方が一貫して息づいています。今回の展示では、バスタブを「モノ」として見せるのではなく、日本の入浴文化に根ざした静かな所作として提示することを目指しています。空間全体を通して、HIDEO が追求してきた美意識と、入浴という行為に込められた静けさ、やすらぎ、そして感性の豊かさを伝えます。

Our Initiatives at SuperNova / Superstudio Più

Superstudio Più では、HIDEO はイタリアのブランド **Karbony** とともに、特別展示「Infinity」に参加します。

このプロジェクトは、カーボンファイバーの糸を起点に、素材・空間・視覚表現が交差する環境を生み出す試みとして構想されています。会場では、Karbony が手がける軽やかなカーボン構造の中に、世界的デザイナー Ross Lovegrove 氏による彫刻作品 **GABO 2.0** と **Stereometric Method**、そして HIDEO の **Infinity-Bio** が共鳴するように配置されます。カーボンファイバーが描き出す構造体は、単なるオブジェにとどまらず、光や影を取り込みながら空間そのものを形づくり、新たな知覚体験へとつなげていきます。

HIDEO の Infinity-Bio は、このインスタレーションの中で、静かな瞑想性を宿す存在として位置づけられています。

上部に配された Karbony の造形が繊細な光と影を落とし、日本の伝統的な間仕切りに着想を得たカーボンの壁面が、視線と光をやわらかく透過させることで、空間に静かな緊張感と奥行きをもたらします。そこでは、炭素、水、光が対話しながら、アート、デザイン、クラフツマンシップが交差するひとつの風景が立ち上がります。

Salone del Mobile が HIDEO のブランドの本質を穏やかに伝える場であるのに対し、Superstudio Più では、異素材との協奏の中で、HIDEO のもう一つの表情が立ち上がります。

二つの会場を通じて、ブランドの思想と造形の可能性を異なる角度から発信します。

Our Collaboration Partner: Karbony

Karbony は、カーボンファイバーを用いて、デザイン、建築、テクノロジーを横断する表現を追求するイタリアのブランドです。一本の連続したカーボンファイバーの糸を、樹脂に浸し、手作業でかたちづくることで、軽やかで強靱、かつ視覚的には非常に繊細な構造体を生み出しています。その造形は、物体そのものだけでなく、そこから派生する影や空間の広がりまでを含めて成立している点に大きな特徴があります。

Karbony の作品はすべてハンドメイドで制作されており、技術革新、職人技、素材研究、美的探究の均衡の上に成り立っています。格子状の構造により軽量性を保ちながら、高い機械的性能や耐久性を実現していることも特徴で、カーボンを工業素材としてだけでなく、空間を描くための表現素材として扱っている点に独自性があります。

Carlo Cappellotto, Founder of Karbony

Carlo Cappellotto(カルロ・カペロット) は、Karbony の創設者であり、建築家、デザイナーです。

1996年にヴェネツィア建築大学 IUAV を卒業後、1999年より **Fabbrica Saccardo Architetture** にて、建築、インテリアデザイン、プロダクトデザインの領域を横断しながら活動を続けています。

その活動領域は、住宅や商業空間、ホスピタリティ空間の設計から、オブジェや家具システムのデザインにまで及びます。これまでに、ミラノの **SaloneSatellite**、ロンドンの **100% East**、**Dubai Design Week** など国際的な文脈で作品やプロジェクトを発表しており、**Abitare**、**AD**、**Interni** といったデザイン誌でも紹介されてきました。

Carlo Cappellotto の仕事には、素材への深い関心、造形の実験性、そして建築とデザインの対話があります。その思想は、歴史的な **Fabbrica Saccardo** の取得・再生にも表れており、そこで立ち上げられた **Karbony** は、カーボンの構造的・表現的な可能性を、デザイン、アート、建築の接点から探る新しい試みとして展開されています。

Studio Hours and Access

HIDEO TOKYO

3-3-3 Akasaka Minato-ku Tokyo
TEL. +81-3-5797-7507
EMAIL hideo.tokyo@hideo.design
HOURS 10:00 – 18:00
Closed Saturdays, Sundays and national holidays

東京都港区赤坂 3-3-3-1F
TEL. 03-5797-7507
EMAIL hideo.tokyo@hideo.design
営業時間 10:00 – 18:00
定休日 土曜・日曜・祝日



MILANO STUDIO

Via Privata Battista De Rolandi, 14
TEL. +39-351-7994193
EMAIL contact@hideo.design

Appointments are required. Please visit the website
or call us to set one up.

予約制とさせていただきます。
ウェブサイトまたはお電話にてご予約の上、ご来場ください。



■参考リンク
[HIDEO ウェブサイト](#)
[Karbony ウェブサイト](#)